

令和元年度公益財団法人沖縄県保健医療福祉事業団事業報告

1 事業概要

令和元年度は、平成 26 年度及び平成 27 年度の余剰金による事業拡充計画（6 年計画）も 2 年目に入り本格的に事業が展開されることから、さらに公益的な役割を積極的に果たしていくため、関係団体との連携を広げながら、県民の保健及び医療の向上と福祉の増進を目的とした健康づくり運動普及啓発事業、臓器移植普及推進事業、ファミリーハウス事業、勤労者福祉事業の 4 事業の充実を図った。

健康づくり運動普及啓発事業では、沖縄県が策定した「健康おきなわ 21（第 2 次）～健康・長寿おきなわ復活プラン～」を踏まえ、「2040 年に男女とも平均寿命日本一」を実現するため、次世代の健康づくりも視野に入れ、幅広く生活習慣改善のための取り組みを推進した。特に働き盛り世代や若年層に焦点をあて、健康経営に特化した関係団体との連携事業として、テレビ CM をはじめモデル実証事業等を行ったほか、若年層を対象にウェブ及び SNS を活用した情報提供や、最新 AR スポーツ体験等を導入したイベントの開催、高校生の健康教室として離島開催も行った。

臓器移植普及推進事業では、臓器移植コーディネーターを 2 名配置し、あっせん業務をはじめ、臓器移植推進の普及啓発事業を継続して実施した。また、医療機関における移植医療体制整備の一環として、移植医療先進国であるスペイン TPM 研修会へ 2 名、県外の研修会等へ 5 名派遣した。県民啓発においては、ラジオ CM のリニューアル、シネアド（映画広告）、バス車内 CM の放送回数を増やすなどのほか、イベント等を活用し臓器移植についての情報発信を行った。

ファミリーハウス事業では、離島など自宅から遠く離れ、本島の医療機関で治療を受ける子どもや付き添い家族の経済的な負担軽減を図り、心身ともに安らぐことができる宿泊施設「がじゅまるの家」の管理運営を行った。令和元年度は、より円滑な運営を図るため、宿泊予約システムの導入や施設改修整備等を行った。また、消費税率の引き上げに伴う利用料金改定と同時に、基本料金の見直しも行い料金値上を実施した。施設の利用においては令和元年度の延べ利用者数は 3,837 人、稼働率は 63.2%となった。

勤労者福祉事業では、勤労者の福祉の向上等に取り組む団体が行う就労支援に対して必要経費を助成し、求職者の就労を支援することで労働者福祉の向上を図った。

令和元年度事業の概要は以下のとおりである。

- (1) 健康づくり運動普及啓発事業
 - ア 健康づくりイベントの開催
 - イ 健康づくり情報の提供
 - ウ スマートライフサポート事業
 - エ 勤労者健康推進事業
 - オ 助成事業
- (2) 臓器移植普及推進事業
 - ア 臓器移植コーディネーター受託事業
 - イ 医療機関の移植医療体制整備事業
 - ウ 県民への普及啓発事業
 - エ 日本臓器移植ネットワーク都道府県支援助成事業
 - オ 助成事業
 - カ 賛助会員の募集
- (3) ファミリーハウス事業
- (4) 勤労者福祉事業（就労支援事業）

- (5) 現有資産の活用
- (6) 特定資産活用による拡充事業計画及び周年事業計画の実施
- (7) 資金運用

2 事業実績

(1) 健康づくり運動普及啓発事業

ア 健康づくりイベントの開催

(ア) 「ココカラプラスフェス」の開催

県民の健康づくりへの意識の底上げを図るため、主に健康づくりへの関心の薄い若年層をターゲットに「ココカラプラスフェス～ココロとカラダにいいことしよう！～」を開催し、楽しさや遊びの要素を取り入れた各種体験・アトラクションを通じて、運動をはじめとする健康行動の自発的な実践や継続を促した。参加者数 2,500 人。

- ・日 時：令和元年 12 月 15 日（日）10：00～18：00
- ・場 所：北谷公園屋内運動場（北谷ドーム）
- ・共 催：沖縄県
- ・後 援：北谷町、北谷町教育委員会、
沖縄スポーツ・ヘルスケア産業クラスター推進協議会
- ・内 容：AR（拡張現実）技術を活用した最新 AR スポーツや、気軽に取り組めるフィットネスのほか、美容やヘルシーフードなど、健康づくりに関連する様々なコンテンツを体験できるイベントを開催した。
 - 体験エリア
最新 AR スポーツ（HADO）、バルーンアトラクション、ストラックアウト（琉球コラソン）、スポーツ吹矢、スラックライン、ボルダリング、鉄棒体験
 - 美容エリア
ネイル、ボディペイント、漢方、ファスティング、肌診断、カイロプラクティック、最新ジム機器体験（EMS トレーニング）
 - 健康測定コーナー
アルコール体質診断、健康度測定（名桜大学ヘルスサポート）
 - ステージイベント
体を楽しく使うエクササイズ、鉄棒パフォーマンス&自重トレーニング、ベリーダンスショー&体験、美容セミナー
 - 飲食ブース
県内飲食店 17 店舗出展

(イ) 「健康づくりライブトーク」の開催

県民の健康づくりの動機づけになることを期待し、筋力と健康の関係をテーマに琉球新報社と共催で「健康づくりライブトーク 2019」開催した。参加者数 600 人。

- ・日 時：令和元年 10 月 6 日（日）13：00～15：30
- ・場 所：ロワジールホテル那覇 天妃の間
- ・内 容：【第一部】講演
講師 谷本道哉（近畿大学生物理工学部准教授）
演題 「1日たった5分！簡単筋トレで健康美ボディを手に入れよう」

【第二部】筋トレ体験と質問形式のトークセッション
講師 谷本道哉

(ウ)「県民健康フェア」の開催

県民の健康づくりに対する意識の向上と取組みを促すことを目的に沖縄県医療保健連合（なごみ会）17団体と連携して「県民健康フェア2019」を開催した。

- ・日 時：令和元年8月25日（日）12：00～16：00
- ・場 所：沖縄コンベンションセンター展示場
- ・参加者数：延べ1,000人

(エ)「若年層の健康教室」の開催

進学や就職などによって、今後1人暮らしや寮生活など大きな環境の変化を迎える高校生を対象に、自らの健康や生活習慣について考えるきっかけを提供することを目的に、医師の監修のもとお笑い芸人の漫才やコント等を交えた健康ネタ、健康運動指導士による簡単フィットネス体験、全生徒参加型のクイズ大会、医師による講話を取り入れた健康教室を3校で開催した。

a 沖縄県立伊良部高等学校（全学年20名参加）

- ・日 時：令和元年12月18日（水）14：00～16：00
- ・宮古島市立伊良部島中学校（全学年108名参加）との共同開催

b 沖縄県立名護高等学校（全学年916名参加）

- ・日 時：令和2年1月17日（金）9：00～11：00

c 沖縄県立中部商業高等学校（3年生240名参加）

- ・日 時：令和2年2月5日（水）9：20～11：10

出演者：演芸集団FEC所属芸人4組8名

宮城あいき（沖縄県保健医療福祉事業団所属健康運動指導士）

監修医：糸数公（沖縄県保健医療部保健衛生統括監）

與那覇忠博、湧川朝雅（県立宮古病院）

(オ)食育活動の推進

a 調理実習の実施

地域に根差した健康づくりの視点から体験型食育（調理実習）を沖縄県食生活改善推進員連絡協議会に委託し、名護市ほか10市町村で計19回実施した。

- ・期 間：令和元年7月～令和2年2月（参加者数：計457人）

b 食育講習会の実施

- ① 令和元年8月28日（水）沖縄ガスショールームゆ〜くる（那覇市）
内 容：地域食育リーダー向け料理講習会
講 師：宮國由紀江 参加者数：30人
- ② 令和元年9月19日（木）カエプロジェクト料理教室（読谷村）
内 容：地域食育リーダー向け料理講習会
講 師：伊是名カエ 参加者数：30人
- ③ 令和元年10月19日（土）沖縄県社会福祉協議会（那覇市）
内 容：親子対象料理教室
講 師：笠原寛子（沖縄県栄養士会） 参加者数：23人
- ④ 令和元年10月20日（日）うるま市健康福祉センター（うるま市）

内 容：親子対象料理教室

講 師：笠原寛子（沖縄県栄養士会） 参加者数：24人

c 県民食育講演会 2019 の実施

食育や健康づくりに携わる専門職（栄養士、保健師、教育者等）を対象に、健康医療情報の効果的な伝え方並びにおいしい料理写真の撮り方についての講演会を沖縄タイムス社と共催で開催した。また、講演にあわせて一般県民向けの食育フェアを開催した。

・日時：令和元年 11 月 19 日（火）13：30～15：30

・会場：タイムスビル 1 F（食育フェア）及び 3 F（講演会）

・参加者数：講演会 213 人、食育フェア約 350 人

・内容：【講演会＜第 1 部＞】

講師：奥原剛（東京大学大学院准教授）

演題：「食育で今日から使える！健康医療情報の効果的な伝え方」

【講演会＜第 2 部＞】

講師：セソコマサユキ（編集者）

演題：「おいしい料理写真の撮り方」

【食育フェア】

食育 SAT システム（沖縄県栄養士会）

塩分控えめ味噌汁試飲・野菜 350 g 測定（県食生活改善推進員連絡協議会）

歩行姿勢測定システム（NEC フィールドディング）

スムージー試飲・販売（腸内環境科学 pariya）

スタンプラリー（協力：沖縄ヤクルト）

イ 健康づくり情報の提供

(ア) メディアミックス型情報発信事業

健康情報誌「kenko ISLAND」を年 4 回（7 月、10 月、12 月、3 月）で各号 2 万部発行し、県内公的機関、医療機関、金融関係、事業所へ配布した。また、沖縄都市モノレール各駅及びファミリーマート店舗、事業団主催イベント等での配布を行い、幅広い世代の読者層の獲得を図った。

情報誌の発行に加え、新たに開設した専用ウェブサイト（www.islandweb.okinawa）及び各種 SNS（ツイッター、フェイスブック、インスタグラム）、動画配信サイト（ユーチューブ）等の複数メディアを組み合わせることで、若年層を中心とする働き盛り世代に向けた効率的な健康づくり情報の発信に努めた。

令和元年度の「kenko ISLAND」各号の特集テーマは以下のとおりである。

① Vol. 52（7 月号） 紫外線対策

② Vol. 53（10 月号） ボディメイク

③ Vol. 54（12 月号） 冷え対策

④ Vol. 55（3 月号） ストレス対策

(イ) 健康情報発信（ホームページ）

事業団ホームページにおいて、イベント案内や企画コンペ、助成金の公募情報掲載等、県民の健康づくりを支援するための情報を発信した。

(ウ) マスメディアの活用

a 新聞

年2回開催される健康づくり講演会の内容を多くの県民へ提供するため、新聞紙面(1ページ)を活用した広報展開を行った。

- ・「健康づくりライブトーク2019」

掲載日：令和元年10月26日(土) 掲載媒体：琉球新報

- ・「県民食育講演会2019」

掲載日：令和元年12月13日(金) 掲載媒体：沖縄タイムス

b テレビ

1 健康づくり啓発テレビCMの制作・放送

県民に対し効果的に健康づくりの啓発を行うため、平成30年度に制作したテレビCMを引続き放送した。

- ・CMテーマ：「プラス10分ウォーク」篇、「野菜・果物プラスワン」篇、「健康経営」篇

- ・放送期間：3ヶ月(令和元年9月～令和元年11月)

- ・放送局：琉球放送、沖縄テレビ、琉球朝日放送

- ・放送本数：計370本(RBC132本、OTV106本、QAB132本)

- ・アンケート調査：

インターネット調査会社に依頼し、20～59歳の男女(沖縄県在住者限定)のネットリサーチモニターを対象にCM視聴によるインターネット調査を実施した。普段の運動習慣・食習慣について、CM認知、CM視聴後の行動についての調査をおこなった。(計208名に対しアンケートを実施)

【調査結果】

CM各篇の認知率はおおむね高く、内容評価についても全体的に肯定的な評価が多かった。健康経営篇についての認知率は他の2篇に比べ下がるものの、健康経営の概念を県民に認識させる一定の効果あげた。

CM各篇の認知率及び内容評価は下記のとおり：

- ① プラス10分ウォーク篇：CM認知率54.8%

<内容評価>「わかりやすい内容だった」74.1%

「10分歩くことを心がけようと思った」66.8%

「簡単に健康づくりができると思った」58.6%

「印象に残った」58.2%

- ② 野菜・果物プラスワン篇：CM認知率49.6%

<内容評価>「分かりやすい内容だった」76%

「野菜・果物の摂取を心がけようと思った」73.5%

「印象に残った」60.1%

「簡単に健康づくりができると思った」59.2%

- ③ 健康経営篇：CM認知率34.2%

<内容評価>「健康経営の考え方に共感した」55.3%

「職場環境で健康を考える必要を感じた」52.4%

「わかりやすい内容だった」52%

「印象に残った」43.3%

2 WEBプロモーション「LIFE UP! Twitterキャンペーン」告知CMの放送

事業団の公式Twitterアカウントをフォロー&リツイートすると参加できるキャンペーンを実施し、その周知を図るテレビCMを制作・放送した。

キャンペーンの終了時点で約 800 名の新規フォロワーを獲得し、今後の Twitter 上での情報発信を幅広くおこなうことが可能となった。

- ・キャンペーン実施期間：令和元年 12 月 15 日～令和 2 年 1 月 31 日
- ・キャンペーン周知方法：テレビ CM、WEB 広告
- ・キャンペーン CM 放映期間：12 月 15 日～1 月 31 日
- ・放送本数：番組提供 70 本（RBC 28 本、OTV 14 本、QAB 28 本）、
スポット 53 本（RBC 19 本、OTV 17 本、QAB 17 本）
- ・Twitter フォロワー数の変化：
キャンペーン前 約 150 人→キャンペーン後 940 人

3 健康経営施策周知のためのテレビ CM 放送

沖縄県健康長寿課、沖縄労働局、協会けんぽ沖縄支部が実施する健康経営の推進に係る施策（認証制度、支援制度等）の周知を目的とするテレビ CM の放送を行い、県内企業における健康経営の普及推進を図った。

- ・放送期間：令和 2 年 2 月 1 日～29 日
- ・放送本数：番組提供 40 本（RBC 16 本、OTV 8 本、QAB 16 本）、
スポット 57 本（RBC 19 本、OTV 19 本、QAB 19 本）
- ・放映用映像については、下記「7 ページエの(ア) 健康経営普及啓発プロモーション事業」で制作した動画コンテンツを活用した。

ウ スマートライフサポート事業

(ア) 保険者との連携

a スマートライフセミナー（受託事業）

各共済組合の組合員とその配偶者を対象に生活習慣病の予防を目的とした保健・栄養・運動の一日実践型セミナーを開催した。

【セミナー内容】

- 保健編：「現役医師が教える生活習慣病の予防策」（医師 和氣亨）
- 栄養編：「働き盛りの食事について」（管理栄養士 宮平若菜）
- 運動編：「働き盛りのできるを見つける筋トレ&ヨガ」（健康運動指導士
宮城あいき、ヨガインストラクター 山田ひかり）

(a) 公立学校共済組合沖縄支部

- ・令和元年 7 月 29 日（月）10：00～15：30 参加者数：67 人
会 場：コストビスタ沖縄ホテル&スパ 1F EM ギャラリー
- ・令和元年 8 月 2 日（金）10：00～15：30 参加者数：62 人
会 場：ロワジュールホテル那覇 3F 龍宮の間

(b) 沖縄県市町村職員共済組合

- ・令和元年 7 月 17 日（水）10：00～15：30 参加者数：62 人
会 場：ロワジュールホテル那覇 3F 龍宮の間
- ・令和元年 7 月 19 日（金）10：00～15：30 参加者数：56 人
会 場：コストビスタ沖縄ホテル&スパ 1F EM ギャラリー

(c) 地方職員共済組合沖縄県支部

- ・令和元年 8 月 16 日（金）10：00～15：50 参加者数：41 人
会 場：ロワジュールホテル那覇 3F 龍宮の間
- ・令和元年 8 月 22 日（木）10：00～15：50 参加者数：35 人
会 場：コストビスタ沖縄ホテル&スパ 1F EM ギャラリー

b 栄養講座（受託事業）

公立学校共済組合沖縄支部が主催する「生涯生活設計セミナー」において、食に対する意識を高め、生涯を通じて健康的な食生活が実現できるよう栄養講座を開催した。参加者数：186人。

- ・令和元年7月24日(水)～7月26日(金)11:00-12:00
会 場：コスタビスタ沖縄ホテル&スパ

(イ) 地域、職域における指導

県内事業者からの依頼により、運動・栄養実践講座の講師として管理栄養士及び健康運動指導士の派遣を行った。また、琉球新報・新社会人向け紙面企画への健康運動指導士による取材協力を行った。

- ・令和元年7月10日(水)8:00～9:00
なか事務所グループ健康増進研修(運動・栄養指導)
- ・令和元年10月17日(木)14:00～17:00
(株)ダイオキ健康経営実践セミナー(体組成測定、運動・栄養指導)
- ・令和元年11月7日(木)10:30～12:30
(株)ダイオキ健康経営実践セミナー(運動・栄養指導、相談対応)
- ・令和2年3月9日(月)10:00～12:00
琉球新報社への取材協力(腹式呼吸によるリラックス法)
新社会人向け琉球新報紙面企画『2020 START UP!』(令和2年3月28日発行)に記事掲載

エ 勤労者健康推進事業 ※

(ア) 健康経営普及啓発プロモーション事業

a 健康社長カレンダー制作

健康経営の普及推進を目的に、自身の健康づくりに積極的に取り組んでいる沖縄県内の企業経営者を取り上げた卓上カレンダー(300部)を制作し、県内企業等に配布を行った。沖縄総合事務局及び沖縄スポーツ・ヘルスクエア産業クラスター推進協議会との共同事業として実施した。

b 健康経営施策周知のための動画コンテンツ制作放映

沖縄県健康長寿課、沖縄労働局、協会けんぽ沖縄支部が実施する健康経営の推進に係る施策(認証制度、支援制度等)の周知を目的に各種メディアで活用可能な15秒動画コンテンツを制作し、テレビCM及びYouTube、沖縄県健康長寿課主催『沖縄県健康経営推進研修会』会場での放映をおこなった。

(イ) 健康経営企業連携モデル実証事業

タウン情報誌「おきなわ倶楽部」(毎月3万部発行)とタイアップし、同誌の出版元である(株)ダイオキの社員による健康経営実践企画を実施。2019年11月号～2020年3月号において誌面内に特集ページ(カラー、2頁)を掲載した。協会けんぽ沖縄支部と連携した社員の運動と栄養の実践指導をはじめ、県内関係機関(沖縄労働局、沖縄産業保健総合支援センター、沖縄県健康長寿課)による健康経営の各種支援策を紹介した。

オ 助成事業

(ア) 市町村健康づくり運動実践活動助成

市町村が実施している健康づくり事業を支援するため、市町村を対象に助成応募者を募り、事業費の10分の7(限度額30万円)の助成を行った。

令和元年度は、金武町ほか9市町村であった。

	市町村名	助成対象事業	開催日	事業内容
1	金武町	金武町健康福祉まつり	R1. 12. 1	町民の健康増進、保健予防、地域福祉に対する意識の高揚を図るためにイベントを開催した。内容は、乳幼児歯科検診、栄養相談、体脂肪測定、骨密度測定、応急手当体験など。 参加者数/1000人 会場/金武町立体育館
2	与那原町	第12回よなばるてくてくウォーク2020	R2. 2. 2	町民の健康・体力づくりの推進とスポーツ意識の高揚、また、町内の史跡等をコースにすることにより、町の歴史文化への関心を高めるとともに、参加者相互の交流を深め、健康で明るいまちづくりを目指すためにイベントを開催した。 参加者数/600人 会場/与那古浜公園発着・与那原町内
3	宜野湾市	第13回宜野湾市はごろもウォーキング大会	R1. 11. 24	「全ての市民が心身ともにいきいきと暮らせる都市」を目指し、市民が健康への認識を高め、運動習慣を定着させる目的のためにウォーキング大会を開催した。 参加者数/472人 会場/宜野湾市立グラウンド及び宜野湾海浜公園周辺
4	国頭村	国頭村運動啓発推進プロジェクト2019	R1. 10～ R1. 12	体験する機会が少ない村民が健康づくりに興味を持ち、また継続できるように運動に関する講座（テニス、ヨガ、ボクササイズ、ズンバ、ノルディックウォーキング）を開催した。 参加者数/185人 会場/国頭村保健センター・エコスポレクテニスコート・国頭総合体育館・かいぎんフィールド国頭
5	沖縄市	沖縄市ウォーキング大会	R2. 1. 11	2～3世代で参加しやすい環境で「歩く楽しさを知る」ことに重点を置き、市民一人一人が健康への意識を持ち、普段から歩くことを習慣化することを目的にウォーキング大会を開催した。 参加者数/541人 会場/東南植物楽園
6	うるま市	令和元年度健康うるま21推進事業	H31. 4～ R2. 2	健康づくりへ意識向上を目指し、また健康増進に寄与することを目的とし、働き盛り世代をターゲットに食と運動に特化した本事業を実施した。内容は料理教室、市民健康講座、運動教室。 参加者数/560人 会場/健康福祉センターうるみん
7	宜野座村	令和元年度いきいき健康フェスティバル及び第37回宜野座村健康ウォーク	R1. 10. 26、 27	ウォーキングで住民のふれあいを通し、運動を継続する楽しさを参加者みんなで共有し、生活習慣として取り入れることを目的に開催した。「いきいき健康フェスティバル」を同時開催し、健康チェック、栄養相談、体組成計等を行った。 参加者数/約345人 会場/宜野座村立総合体育館
8	東村	元気にキレイを自分で作る！ストレッチ教室	H31. 4～ R2. 1	健康な生活を送るためには、村民ひとり一人が健康づくりに取り組み、継続することが重要であり、また取り組みやすい環境づくりとして、ストレッチ教室を開催した。 参加者数/延べ668人 会場/東村営体育館・高江公民館
9	北谷町教育委員会	第35回北谷町民トリムマラソン大会	R1. 1. 19	町民誰でも気軽に楽しみながら参加できるトリムマラソンを通して、親子のふれあいや地域の人々の交流促進を図ることにより、地域に根ざした「体力づくり」「健康づくり」の場を目的にイベントを開催した。 参加者数/608人 会場/北谷公園屋内運動場
10	北中城村	フラで素敵に元気に！ALOHA！ギネス世界一へのプロローグ	R1. 10～ 12. 1	フラダンスを活用した健康推進の機運を高め、世界遺産中城城跡でのフラダンスギネス世界記録を目指し、フラダンスでの運動習慣の定着を図るとともに、「北中城長寿ブランド」確立を目的に開催した。 参加者数/702人 会場/北中城村総合社会福祉センター、中城城跡

(イ) 健康づくり運動実践活動団体助成

広く県民の健康づくりに寄与するため、地域で健康づくり実践活動を継続している団体に対し、事業経費の助成（限度額40万円）を行った。

令和元年度は、沖縄県歯科衛生士会ほか15団体への助成を行い、昨年度実績の11団体から大きく増加した。ハートフル卓球同好会による『卓球サーキット

トレーニング』や一般社団法人 TEAM たまぐすくによる『ファミリーンピック』等の新たな事業の応募もあり、地域の特色にあった様々な健康づくりの取組への支援を行った。

	団体名	助成対象事業名	開催日	事業内容
1	沖縄県 歯科衛生 士会	第26回 「歯りきり 元気 いい 歯の日」	R1. 11. 4	パネル展示や資料配布、口腔内の検査コーナー等を通して、歯周病予防や口腔ケアに関する正しい知識を普及啓発し、県民の健康の保持増進に寄与することを目的に開催した。 参加者数/380人 会場/サンエー西原シティ
2	国頭村老 人クラブ 連合会	「自分の健 康は自分で 守ろう会」 プロジェク ト	R1. 6～R1. 9	村民の健康を維持、向上するために、健康に関する知識を学びたいという意欲が高まっているので、村民が自分の健康を守るための知識を習得し、実践していく力をつけることを目的に動作法講座を開催した。 参加者数/232人 会場/国頭村保健センター
3	嘉数ハイ ツ自治会	嘉数ハイ ツいきいき ガングー長 寿村	R1. 8～ R1. 12	健康意識の向上のために、昨年度好評だった動作法講座と、身近な環境で仲間と楽しみながら実践できる健康づくりの選択肢を増やすことを目的とする吹き矢講座を開催した。 参加者数/72人 会場/嘉数ハイツ公民館
4	NPO 法人 沖縄県 脊髄損傷 者協会	「誰でも簡単 バリアフリー 体操」「食べ て元気食育調 理実習」	R1. 10. 30～ R1. 11. 20	身体に障害がある方でも無理なく簡単にできる体操や料理を学び、日常生活に取り入れることで健康への意識の向上や増進を図る目的で、バリアフリー体操、調理実習を開催した。 参加者数/26人 会場/カエルびあなは、浦添市社会福祉センター
5	上大謝名 自治会	上大謝名健 康づくり推 進員会発足 プロジェク ト	R1. 9～ R1. 12	健康を軸にした仲間づくりを図り、住民同士が健康について活発に情報交換をしたり、声を掛け合ったりするような仕組みづくりを目的とし、動作法講座を開催した。上大謝名自治会は今後健康づくり推進委員会の設置を目指している。 参加者数/147人 会場/上大謝名公民館
6	つきしろ 自治会	つきしろ 健康むら プロジェクト	R1. 8～ R1. 12	健康づくりへの関心がそれほど高くない層の住民でも興味を持てる内容を工夫し、親子クッキング講座、筋トレ講座、津波古自治区と共催で食育劇を開催した。 参加者数/115人 会場/つきしろ公民館、津波古公民館
7	ハートフ ル卓球同 好会	卓球サーキ ットトレー ニング	R1. 10～ R1. 12	卓球は認知症予防に効果があるとされ、生涯スポーツとして行うことにより、心身ともに丈夫にし、仲間と交流を図ることにより、社会参加の幅を広げることを目的として開催した。 参加者数/198人 会場/那覇市民体育館、沖縄県体協スポーツ会館、豊見城市民体育館、糸満西崎体育館
8	一般社団 法人 TEAM た まぐすく	沖縄 2019 ファミリ ンピック	R1. 11. 24	日常生活における子どもの身体活動量の低下が懸念されていて、今回家族で運動を楽しむ機会を作ることにより、健康意識を高め、運動の継続化を目指すことを目的に開催した。 参加者数/170人 会場/南城市玉城総合体育館
9	津波古 自治区	津波古は親 子で元気！ プロジェク ト	R1. 12	子育て世代とその子どもたちをターゲットとし、関心が高く、かつ困りごととなっていると思われる「食」を中心とした講座等を開催した。またつきしろ自治会と共催で、食育劇を行った。 参加者数/101人 会場/津波古公民館
10	NPO 法人 日本健康 運動指導 士会沖縄 支部	第12回う まちゅ健康 フェスタ	R1. 11. 10	実体験をすることで県民一人一人の健康意識を高め、健康寿命の延伸を目的にイベントを開催した。内容は「沖縄 Let's プチ体操」の紹介や、体力測定、健康相談、骨密度測定、血糖値測定、運動療法ミニ講座、サンプル配布など。 参加者数/197人 会場/糸満市西崎総合体育館
11	(公社)沖 縄県理学 療法士協 会	介護予防・ 健康増進キ ャンペーン 2019	R1. 7. 14	理学療法を通じて県民の医療・保健・福祉の増進に寄与し、リハビリテーション及び理学療法、更に介護予防・健康増進への理解と啓発を目的とし、イベントを開催した。内容は、体力測定、リハビリ体操の講演、資料配布など。 参加者数/30人 会場/宜野湾市中央公民館

12	川田区成人会	池原英樹先生健康教室	R1. 9～ R1. 12	健康で自立した生活を継続することができるように、健康づくりの観点から基礎体力の充実を図り、日常的に運動習慣を身に付け、自身の健康状態に興味を持ってもらうことを目的に池原先生による体のほぐし方の講習会を開催した。 参加者数/134人 会場/川田地区公民館
13	沖縄医療生活協同組合	2019年度健康づくりシンポジウム	R1. 8. 17	地域まるごと健康づくりをすすめるための取り組みで、多くの県民が健康づくり活動に興味を持ち、生活習慣を見直し継続した健康づくり活動へつなげるための健康(シンポジウム)講話を開催した。 参加者数/130人 会場/沖縄空手会館
14	沖縄県医師会	第29回県民公開講座・県民との懇談会	R1. 7. 27 R1. 9. 28	県民の心身共に健やかな発展を願い、県民への健康啓発活動の一環として、全ての県民のライフステージに合った健康保持・増進に寄与すべく、その時宜にかなったテーマを設定し、県民健康公開講座・県民との懇談会を開催した。 参加者数/410人 会場/ダブルツリーby ヒルトン那覇首里城
15	沖縄県栄養士会	県民の健康維持のための食生活充実に向けた啓発	R1. 7～ R. 12	自宅で療養している方や、その家族、在宅支援されている方に疾患別食事内容をまとめたパンフレットや疾患に合わせた食事のレシピを作成し、活用していただくことで重症化の予防、または健康を維持することも目的とする。県民に健康イベント等で配布する。
16	沖縄県食生活改善推進員連絡協議会	島野菜を活用した郷土レシピ集の増刷	H31. 4～ R1. 12	昨年度、身近で伝統的な野菜である島野菜を活用した郷土料理レシピ集を作成し、各市町村の食生活改善推進員協議会や県内の保健所、保育所等に配布した。今回はレシピ集を1000部増刷し、さらに多くの県民に配布することで、地産地消や野菜摂取量の増加及び食文化の継承を目指すことを目的とする。

(ウ) 健康課題解決型支援事業(助成事業) ※

市町村及び民間企業等が連携した自主的な取り組みを促進するため、公募により選定した県民の健康課題の解決を図るプロジェクトに対し、将来的な自走化を見据えた助成支援をおこなった。令和元年度は4件の応募のうち、2件のプロジェクトに対し、助成を行った。

①助成事業者：国立大学法人琉球大学(連携先：南風原町、本部町)

事業名：学童食育で健康長寿復興を実現する元気沖縄プログラム

事業内容：沖縄県内の小学生児童の食の実態をスポット尿の解析によって検証し、データと科学的根拠に基づく学校給食メニューの提案や食育モードの開発を行い、地域適合型の食介入モデルを構築することを狙いとし、以下の内容を実施した。

- a. 南風原町内の小学3年生児及び本部町内小学3年生の児童97名を対象に尿の採取・解析と食生活に関するアンケート調査、身長・体重・血圧の測定を実施した。
- b. 本部小学校児童の希望者に食育体験実習を2回行った。

助成金額：6,199,550円

②助成事業者：一般社団法人トータルウェルネスプロジェクトオキナワ(連携先：那覇市)

事業名：働き世代向け健康プロデュース事業

事業内容：沖縄の働き盛り世代・企業の健康経営実践のサポートを目的とし、以下の内容を実施した。

- a. 産学官医連携の実働チームの構築
- b. 働き世代向けのイベントの開催(食・医・心・経営学)

- ロによるトークセッションと交流会の開催)
- c. ウェルネスプログラムの開発（宿泊型&セミナー・ワークショップ型）
- d. 職場や教育現場でも活用できるワークショップツールの開発（Well-Being カード・食育カード・味覚講座）
- e. プロモーションツールの制作（WEB 制作・開発、パンフレット制作、プロモーション動画制作）

助成金額：9,984,000 円

（２）臓器移植普及推進事業

（臓器提供の現況）

沖縄県における透析患者数は、平成 30 年末時点では約 4,500 人、人口 100 万あたりの患者数にすると全国でかなり上位に位置し、令和元年 12 月末には 221 人の方が献腎移植希望の登録を行っている。

死後の臓器提供には、心臓が停止した後に行う心停止後臓器提供と法的に脳死とされた後に行う脳死下臓器提供がある。平成 22 年に臓器の移植に関する法律が改正されて 10 年が経過しようとしているが、臓器提供者数は思ったような増加はなく、課題解決には至っていない。しかし、増減を繰り返しながらも昨年は全国で過去最高の 125 件の臓器提供があった。特に小児からの提供数が増加した。

沖縄県においては、平成 26 年に県内初の脳死下臓器提供が沖縄県立中部病院で実施されてからは、脳死下臓器提供が増加し、心停止後での提供は減少している。令和元年度は、3 人の方から脳死下臓器提供があり、これまでに 79 人の方から臓器提供がなされ、147 人の方へ献腎移植が行われている。

沖縄県における臓器提供者数と献腎移植者数

	平成 30 年度	令和元年度	昭和 62 年～ 令和元年度 累計
心停止後提供数	0 人	0 人	72 人
脳死下臓器提供数	1 人	3 人	7 人

（令和元年 4 月現在）

ア 臓器移植コーディネーター受託事業

臓器移植連絡調整者設置事業を沖縄県から受託し、臓器移植コーディネーターを 2 人配置し、移植に関わる医療機関の医師及び院内コーディネーターとの情報交換や移植医療の普及啓発の強化を図った。

（ア）臓器提供者（ドナー）発生時の対応（あっせん業務）

令和元年度の本県におけるドナー情報数は 29 件（平成 30 年度 16 件）であった。提供については、3 人の方が脳死下で臓器提供をされた。移植については、県外の方からの腎臓提供を含め、県内で 3 人の患者へ腎臓移植が行われた。

数字：県内実績件数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
情報数	3	3	2	3	2	1	3	2	2	3	4	1	29
提供数	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	3
献腎移植数	2	0	0	0	1※	0	0	0	0	0	0	0	3

※県外ドナーからの提供による移植

（イ）臓器移植推進委員会の開催

臓器移植医療の専門的立場からの指導助言を受け、臓器の移植医療に対応で

きる組織体制を構築する必要があることから、専門医による推進委員会を開催した。

○第1回

開催日時：令和元年6月25日（火）19:30～21:00

開催場所：沖縄県保健医療福祉事業団 5階会議室

○第2回

開催日時：令和元年10月23日（水）19:30～21:00

開催場所：沖縄県保健医療福祉事業団 5階会議室

○第3回

令和2年3月24日（火）に開催を予定していたが、新型コロナウイルスの影響により中止

イ 医療機関の移植医療体制整備事業

（ア）病院啓発

県内医療機関を延べ120回以上巡回し、勉強会や移植関連情報の提供を行い院内体制の充実に努めた。また、行政や警察などの関係機関を延べ20回以上訪問し連携強化を図った。

（イ）臓器提供に関する調査の実施

県立南部医療センター・こども医療センター（令和元年1月30日～31日）

（ウ）移植医療セミナー（TPM）への派遣

移植医療推進のため、臓器提供者（ドナー）の発見、脳死診断、ドナー家族へのアプローチ法等を学習するセミナーへ救急医等の専門家を派遣した。

派遣先：スペイン バルセロナ

派遣者：北井 勇也（浦添総合病院 救急医）※

下地 亮（那覇市立病院 脳神経外科医）

研修期間：令和元年10月21日（月）～25日（金）

（エ）研修等派遣事業 ※

派遣先：第55回日本移植学会総会（令和元年10月10日～13日）

派遣者：院内コーディネーター3名（浦添総合病院1名、中頭病院2名）

派遣先：日本移植コーディネーター総合研修会（令和元11月22日～24日）

派遣者：院内コーディネーター2名（琉球大学医学部附属病院）

（オ）臓器提供選択肢リーフレットの作成

終末期にあるご家族へ移植医療・臓器提供についての情報提供を行うことを目的に、沖縄県移植情報担当者を設置している救急医療機関（17施設）へ配布するため作成した。

ウ 県民への普及啓発事業

（ア）臓器提供意思表示カードの配布及び所持・意思表示欄への記載を推進するため、県、市町村及び関係機関の協力を得てカードの設置や健康保険証・自動車免許証等への記載推進について普及啓発を行った。

○市町村、関係機関等へ意思表示カードの補充を行った。

令和2年3月7日（土）に開催を予定していたが、新型コロナウイルスの影響により中止

(オ) イベントの活用

臓器提供意思表示カード及びパンフレットの配布を下記のとおり行った。

○こどもの遊びまつり

開催日時：令和元年10月12日（土）～14日（月）

開催場所：県総合運動公園

○体験こどもフェスティバル REIWA

開催日時：令和元年10月20日（日）

開催場所：道の駅いとまん

○第2回いとまん平和トリムマラソン

令和2年3月14日（土）に、糸満市西崎総合体育館にて配布予定であったが、新型コロナウイルスの影響により中止

(カ) 移植医療情報の提供

これまで放送していたCMをリニューアルし放送を行った。

○臓器提供意思表示啓発ラジオCM

素 材：4編（YES編、NO編、わからない編、テーマソング編）

放送期間：令和元年9月～令和2年3月

放 送 局：FM沖縄（180本）、ラジオ沖縄（123本）、RBCiラジオ（126本）

放送本数：計429本

○映画館広告（シネアド）

既に制作された評価の高いラジオCM素材を活かした動画を制作し、10月に県内の映画館4か所で移植医療・臓器提供についての情報を発信した。

・シネマQ 10/18～10/31（14日間）

上映回数70回、動員数2,800名

・シネマライカム 10/18～10/31（14日間）

上映回数70回、動員数2,500名

・サザンプレックス 10/18～10/31（14日間）

上映回数70回、動員数1,200名

・ミハマセブンプレックス 10/18～10/31（14日間）

上映回数70回、動員数1,000名

○バス車内CM放送

臓器提供の意思表示を呼び掛けるCMを県内の主要路線を走る10路線のバスの車内で放送した。

（放送期間：令和元年4月25日～令和2年3月31日）

- | | |
|--------------------------|--------|
| ・90 知花線（琉球バス）おもろまち駅前 | 2,665回 |
| ・23 具志川線（琉球バス）屋富祖 | 3,565回 |
| ・89 糸満線（琉球・沖縄）旭町 | 4,058回 |
| ・6 那覇おもろまち線（那覇バス）県庁南口 | 2,541回 |
| ・98 琉大線（琉球バス）県庁北口 | 2,113回 |
| ・37、38 志喜屋新開線（東陽バス）国場 | 2,110回 |
| ・30 泡瀬東線（東陽バス）古蔵中学校前 | 1,928回 |
| ・34、334 東風平線（沖縄バス）古蔵中学校前 | 1,219回 |
| ・24 那覇大謝名線（琉球バス）天久 | 1,357回 |
| ・28、29、228 読谷線（琉球・沖縄）安謝 | 3,565回 |

エ 日本臓器移植ネットワーク都道府県支援助成事業

(ア) ○令和元年度第1回沖縄県移植情報担当者会議

開催日時：令和元年6月28日（金）14:00～16:00

開催場所：沖縄県三重城合同庁舎8階特別研修室

参加者：32人（15施設）

内 容・アイバンク活動報告

西 昌子（沖縄県アイバンク協会）

・沖縄県の臓器提供の現状

仲間 貴享（沖縄県保健医療福祉事業団）

・日本臓器移植ネットワークより報告

深草 千亜里（日本臓器移植ネットワーク）

・症例報告

玉城 正弘（豊見城中央病院 医師）

・質疑応答

○令和元年度第2回沖縄県移植情報担当者会議

開催日時：令和元年10月17日（木）14:00～16:00

開催場所：沖縄県三重城合同庁舎8階特別研修室

参加者：34人（14施設）

内 容・講義「ポテンシャルドナーとは」

宮里 均（沖縄県立中部病院）

・グループワーク「臓器提供のプロセス」

宮里 均（沖縄県立中部病院）

那須 道高（浦添総合病院）

・全体ワーク「心停止下臓器提供シミュレーション」

那須 道高（浦添総合病院）

・質疑応答

○令和元年度第3回沖縄県移植情報担当者会議

令和2年2月27日（木）に開催予定であったが、新型コロナウイルスの影響により中止

オ 助成事業

(ア) 組織適合性検査の助成

献腎移植登録可能施設（沖縄県立中部病院・豊見城中央病院）で、組織適合性検査を受けた臓器移植希望者27人に対して、一人2万円の助成を行った。

(イ) 臓器移植普及啓発活動団体助成事業

広く県民に臓器移植が正しく理解されることを目的に、県内で臓器移植の普及啓発活動を実施している保健・医療・福祉団体等に対し助成を行った。

○沖縄県腎臓病協議会（10万円）

○沖縄県アイバンク協会（10万円）

カ 賛助会員の募集

賛助会員（1口：3万円）加入の協力を、医療機関及び企業団体等に呼びかけ

たところ、24 団体から 24 口、72 万円の会費収入があった。

(3) ファミリーハウス事業

離島など遠隔地から「南部医療センター・子ども医療センター」等に入院又は受診する難病等の子どもや付添い家族のための滞在施設として、ファミリーハウス「がじゅまるの家」の運営を認定 NPO 法人「こども医療支援わらびの会」に委託して行い、病児及び家族の経済的負担や精神的不安の解消に努めた。また、消費税の改定、修繕費や光熱費単価の上昇による運営赤字改善のため、令和元年 11 月より料金改定を以下のとおり行った。

	対 象	現 行	改 定
宿 泊	病 児	無料	無料
	病児付添家族の 中学生以上	1,050円	1,350円
	子ども	200円	250円
	成 人	1,500円	1,950円
休 憩	中学生以上	500円	600円
	子ども	200円	250円
シャワー	一 律	200円	200円

・上記料金は、消費税込み。寝具料 150 円/日については別途。

ア 令和元年度の稼働率及び利用者数等の実績

＜ファミリーハウス「がじゅまるの家」利用状況＞

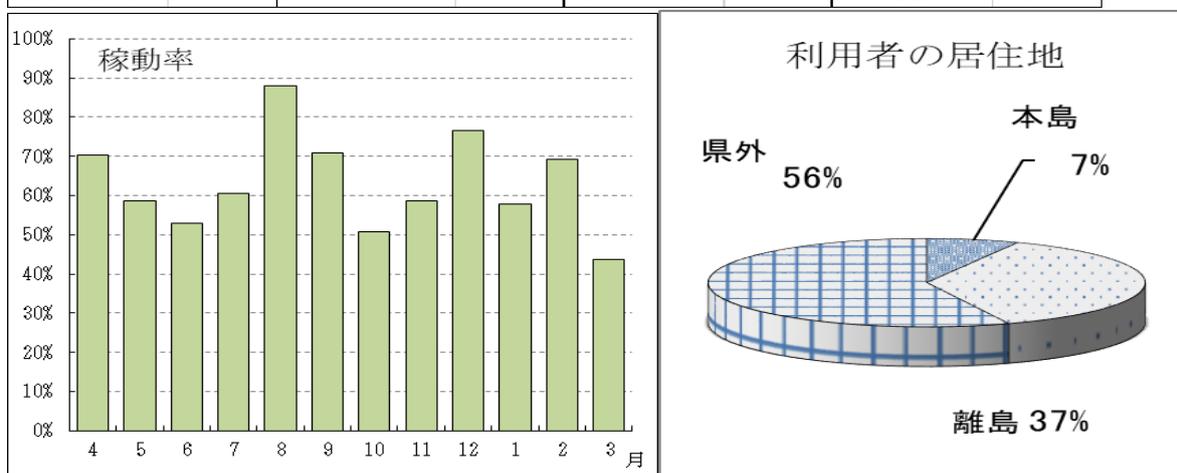
月	営業 日数	利用室数	稼働率	利 用 者 数 (人)				
				沖 縄 県			県外	合計
				本島	離島	計		
4	30	211	70.3%	37	137	174	190	364
5	31	182	58.7%	2	120	122	190	312
6	30	159	53.0%	3	122	125	118	243
7	31	188	60.6%	24	107	131	191	322
8	31	273	88.1%	52	281	333	243	576
9	30	213	71.0%	41	89	130	188	318
10	31	157	50.6%	20	72	92	144	236
11	30	176	58.7%	28	89	117	138	255
12	31	237	76.5%	43	180	223	152	375
1	31	179	57.7%	0	123	123	185	308
2	29	201	69.3%	6	52	58	261	319
3	31	135	43.5%	7	49	56	153	209
計	366	2,311	63.2%	263	1,421	1,684	2,153	3,837

・年度別稼働率 H20:56.7%、H21:57.0%、H22:77.7%、H23:70.1%、H24:71.9%、H25:71.6%、H26:58.5%
H27:64.6%、H28:67.6%、H29:66.9%、H30:65.3%

・シャワー利用者数 R1:215人

住居地別利用者数(延べ人数)

沖縄県	1,684	鹿児島県	821	兵庫県	443	愛知県	230
京都府	174	青森県	100	高知県	69	アメリカ	59
神奈川県	41	イタリア	40	福岡県	39	石川県	35
東京都	30	山梨県	17	北海道	14	三重県	11
宮城県	8	中国・香港	5	他4県	17	計	3,837



イ 利便性向上事業※

(ア) 建築設備改修整備事業

優先度に応じ設備の取り換えを行い、宿泊施設用クーラー9台、電気温水器5台を購入した。

(イ) 宿泊予約システム構築事業

適正な個人情報管理や宿泊者数集計、業務の効率化のため宿泊管理システムを導入した。

ウ ファミリーハウス運営協議会の開催

開催日時：令和元年8月22日（木）13：30～15：30

場所：ファミリーハウス「がじゅまるの家」多目的室

議題：①個人情報の取扱いについて

②感染症について

③料金改定について

(4) 勤労者福祉事業（就労支援事業）

勤労者の福祉の向上等に取り組む団体が行う事業で、地域において勤労意欲のある者に対する就労の支援に対し、その必要経費の一部を助成した。

1 助成団体：（公財）沖縄県労働者福祉基金協会（以下「労福協」という。）

2 労福協への助成事業

(ア) 就労困難者に対する雇用に関する相談及び指導

a 就労訓練事業

・1Day PC Café

実施回数：10回

実施人数：41人

b 就労体験・中間的就労の場の提供

・フードバンク活動への参加、湯沸し器解体作業等

実施回数：33回

- 参加者数：58人
- c ソーシャルプログラム
- ・知的・発達障害や疑いのある人や長期離職者が参加する、スポーツを通してのチームビルディングコミュニケーションプログラム
- 実施日：12/19
受講者：23人
- (イ) 就労困難者に対する雇用に関する情報収集及び提供
- a 無料職業紹介事業
- ・「就労困難者」にマッチングした求人開拓（登録企業者数9社）
- 実施回数：随時
紹介数：36人中、採用21人
- (ウ) 資格取得、技術または技能の習得等職業能力を高める事業
- a 調理師資格取得試験準備講習会
- 場所：南部・中部・北部・宮古
参加者数：35人
就職者数：31人
受験者数：21人
合格者数：10人
- b 原付免許取得直前講習
- 実施回数：76回（個別対応）
参加者数：3人
合格者数：2人（就職内定）
- c パソコン検定対策講座
- 実施回数：4日間×3回
参加者数：7人
- d 出張型パソコンセミナー
- 場所：那覇市母子生活支援センターさくら
実施回数：5日連続セミナー1回
受講者数：5人
- e パソコンスキルアップセミナー
- 実施回数：23回
受講者数：106名
- f パソコン検定
- 実施回数：3回
受講者数：7名
検定合格者：2名
- (エ) その他就労支援のために必要な事業
- a 支援員スキルアップ研修（人材育成）
- 実施回数：10回
参加者数：221人
- b 働く仲間のゆめ・みらい基金（「働く」につなげる支援）
- 支援者数：135人
就職者数：37人
連携機関：県パーソナルサポートセンター南部・ゆいはあと中部・名護市社会福祉協議会 他16件

※2019年度 労福協就労サポートセンター実績

(グッジョブセンターおきなわ内実施支援・セミナーで対応した数値)

※3月のセミナー等は、新型コロナウイルス感染予防対策の為、一部中止。

年 月	利用回数 (延べ)	新規人数	リピーター数 (会員番号毎)	就職者数
2019年4月	73	28	28	5
2019年5月	81	24	32	1
2019年6月	82	33	44	1
2019年7月	103	32	48	3
2019年8月	68	14	27	3
2019年9月	72	30	40	1
2019年10月	84	17	34	1
2019年11月	78	16	31	1
2019年12月	80	15	30	0
2020年1月	104	19	36	2
2020年2月	104	17	31	2
2020年3月	65	5	16	1
合 計	994	250	397	21

(5) 現有資産の活用

事業団が所有する施設(旧健康増進センター)を民間フィットネス事業者(株式会社フィットネスプロモーション)他2件へ賃貸借契約により貸し付けた。

(株)フィットネスプロモーションが運営する「ジスタス浦添」の令和元年度施設利用者の延べ人数は、約500,000人となっており、県民の健康増進に活用された。土地については、発電設備設置の土地(132㎡)を株式会社シントーへ貸し付けた。また、敷地内から湧出する温泉は、動力装置により汲み上げ、温泉施設へ安定供給を行った。令和元年度は、消費税率の改定に伴い、その増加分について施設賃貸料及び温泉供給料金の改定を行った。

(6) 特定資産活用による拡充事業計画及び周年事業計画の実施

ア 拡充事業(平成30年度～令和5年度)

令和元年度は、事業実施2年目となるが、予算額68,360,000円に対し、決算額は54,948,142円で執行率は、約80%となった。総務部門、臓器移植推進部門では、概ね計画どおりの実施となったが、健康づくり部門の企業連携モデル実証事業では、実施事業者が1社となり規模が縮小となった。また、ファミリーハウス部門の施設紹介動画制作事業については、制作内容等について十分な調整が出来ず次年度へ繰り越すこととなった。

	事業名	実 施 内 容
総務	経営管理システム導入事業	・勤怠管理・財務会計システム等の導入及び機能追加を行った。
	安全対策施設整備強化事業	・隣地との境界斜面に設置している擁壁の補修工事を行った。 ・5階に監視カメラの設置、会議室のネット環境、廊下・休憩室の整備 ・老朽化した備品(金庫・シュレッダー等)の購入
健康	健康課題解決	・公募提案により、2事業者を選定し、助成事業を行った。

	型支援事業	※詳細は、P10～11（ウ）参照
	勤労者健康 推進事業	・ 県内関係機関と連携し、健康経営の普及に関し広報活動等を行った ・ 健康経営企業連携モデル実証事業の実施（県内企業1社） ※詳細は、P7エ（ア）参照
臓器移植推進	TPM追加 派遣事業	・ 移植医療セミナーへ救急医療等の専門家を派遣した。（1名） ※詳細は、P12イ（ウ）参照
	学会（研修） 等派遣事業	・ 院内CO等を、臓器移植医療関連学会等の研修へ派遣した。（5名） ※詳細は、P12イ（エ）参照
ファミリー ハウス	建築設備改修 整備事業	・ 故障及び老朽化したクーラー、電気温水器等の取り替えを行った。 ※詳細は、P17イ（ア）参照
	宿泊予約シス テム構築事業	・ 宿泊者集計、予約状況管理のための宿泊システムを導入した。 ※詳細は、P17イ（イ）参照

イ 周年事業（平成30年度～令和6年度）

設立45周年記念事業として、事業団の認知度を高め今後の事業展開に役立てるため、広報力強化事業を行った。敷地入口に大型の看板を設置し、施設の周知や情報発等を行う予定であったが、看板の種類や効果について再検討する必要があったため保留した。予算額10,000,000円に対し、決算額は5,628,318円で執行率は、約56%となった。

	事業名	実施内容
総務	広報力強化 事業	・ 事業概要等を紹介するパンフレットの作成（5,000部） ・ オリジナルロゴ、キャラクターの制作 ・ ノベルティを制作し関係者やイベント等で配布した。 （タンブラー1,000個、木のストロー500本、多機能ペン1,700本、トートバック2,000枚、スポーツタオル850枚）

制作したロゴ及びマスコットキャラクターについては、パンフレットやチラシ等に積極的に掲載し、認知度の向上及び事業団を身近に感じてもらえるよう広報を行う。

【コンセプト】もっと大きな 健康の輪を！

Well-being Agency of Okinawa（公益財団法人沖縄県保健医療福祉事業団の英文名称）の略称「WAO」を→「ワオ」→「輪を！」に置き換え、さらに「喜びの感情」に発する「ワオ！」にかけています。これは県民の保健、医療、福祉の増進に寄与するという事業団の理念に基づき、健康の輪を今よりもっと県民に広げる事で「大きな輪」として「喜びのワオ！」につなげたい、という願いをこめています。



【マスコットキャラクター】わお

「ヤモリ」の妖精。ヤモリは「家守り」が語源の縁起が良い生き物。沖縄県民の「厄（病気やケガ・悪いもの・悪い習慣）」を食べ、健康を守ります。



特定資産活用による拡充事業計画及び周年事業計画の実施状況		事業予算(概算)										部門別合計
実施部門	事業名1(中科目)	事業名2(小科目)	事業内容	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	小計	部門別合計
				(2016)	(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)			
【拡充事業】予算額2.0億円												
総務	事業名1(中科目)	①経営管理システム導入事業	・財務会計、勤怠管理及び給与システム等の導入 ・システムの設置 ・安全性の高いネットワーク及びサーバー・パーセンシステム構築 ・個人情報関係管理金庫及び監視カメラの設置 ・空調設備の設置、シュレッダー、備品等の購入	予算 (実績)	2,583,360	2,562,000		500,000			5,655,360	31,200,000
				変更前	3,400,000	2,800,000				6,200,000		
	経営業務効率化推進事業	②安全対策施設整備強化事業	・空調設備の設置、シュレッダー、備品等の購入	予算 (実績)	23,533,746	1,797,000		213,894			25,544,640	31,200,000
				変更前	25,000,000	0				25,000,000		
健康づくり	事業名1(中科目)	①団体等連携型事業	・連携先(行政関係機関、研究教育機関、職能団体等)	予算 (実績)	9,900,000	8,000,000	8,000,000	8,000,000	8,000,000	6,618,923	40,516,923	115,000,000
				変更前	10,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000	30,000,000		
	健康づくり強化推進事業	②健康課題解決型支援事業	・公務員業により支援事業を選定 ・官民連携型プロジェクトへの助成支援	予算 (実績)	16,882,679	20,000,000	20,000,000	20,000,000			56,862,679	115,000,000
				変更前	21,000,000	21,000,000	21,000,000	21,000,000		63,000,000		
機器移転推進	事業名1(中科目)	③勤労者健康推進事業	・健康経営普及促進プロジェクト推進事業 ・健康経営企業連携モデル実証事業(派遣型)	予算 (実績)	2,618,398	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000	17,618,398	115,000,000	
				変更前	6,000,000	4,000,000	4,000,000	4,000,000	4,000,000	22,000,000		
	健康づくり強化推進事業	①移植医療セミナー(TPM)追加派遣事業<既存事業の拡充>	・派遣人数増員分(計10名)の派遣費負担 平成31年～35年まで各年2名	予算 (実績)	983,189	1,570,000	1,570,000	1,570,000	1,570,000	7,273,189	18,000,000	
				変更前	1,560,000	1,560,000	1,560,000	1,560,000	1,560,000	7,800,000		
ファミリーハウス	事業名1(中科目)	②学会等派遣事業	・派遣人数(各年4名程度)	予算 (実績)	576,830	640,000	640,000	640,000	640,000	3,136,830	18,000,000	
				変更前	640,000	640,000	640,000	640,000	640,000	3,200,000		
	健康づくり強化推進事業	①機器移転普及啓発イベント事業	・グリーンリポート普及啓発イベント実施	予算 (実績)		1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	4,589,981	18,000,000	
				変更前		1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	4,000,000		
ファミリーハウス	事業名1(中科目)	②テレビ番組活用型啓発事業	・テレビ特集番組の放映(改正機器移転法施行10周年記念)	予算 (実績)		3,000,000	0	0	0	3,000,000	7,000,000	
				変更前		0	0	0	0	0		
	健康づくり強化推進事業	①建築設備改修整備事業	・空調、照明、調理設備の改修及び省エネ化 ・宿泊者向けWi-Fi等の設置	予算 (実績)	1,838,800	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,028,280	4,867,080	7,000,000	
				変更前	2,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000		
ファミリーハウス	事業名1(中科目)	②看板設置事業	・施設案内用大型看板の設置	予算 (実績)		1,000,000	0			1,000,000	7,000,000	
				変更前		1,000,000				1,000,000		
	健康づくり強化推進事業	③宿泊予約システム構築事業	・宿泊予約及び会計システムの導入	予算 (実績)	1,132,920					1,132,920	7,000,000	
				変更前	2,000,000					2,000,000		
ファミリーハウス	事業名1(中科目)	④施設紹介動画制作事業	・動画制作委託料	予算 (実績)	0	1,000,000	0			1,000,000	7,000,000	
				変更前	1,000,000	0				1,000,000		
	健康づくり強化推進事業	①嘱託職員2名(240,000円×2名×60ヶ月)	・嘱託職員2名(240,000円×2名×60ヶ月)	予算 (実績)	4,788,220	5,940,000	5,940,000	6,000,000	6,000,000	28,800,000	28,800,000	
				変更前	5,760,000	5,760,000	5,760,000	5,760,000	5,760,000	28,800,000		
予算(実績)合計				9,900,000	54,948,142	51,509,000	43,210,000	23,952,174	16,480,684	200,000,000	200,000,000	
変更前予算合計				10,000,000	66,380,000	43,760,000	38,980,000	20,980,000	17,860,000	200,000,000	200,000,000	

【周年事業】予算額0.3億円		※平成30年度、令和元年度については、実績額										部門別合計
		事業予算(概算)										
実施部門	事業名1(中科目)	事業名2(小科目)	事業内容	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	小計	
				(2018)	(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)		
総務	設立45周年記念事業	①広報力強化事業	・事業団広報用パンフレット等の制作 ・事業団ロゴ、愛称、看板、ノベルティ、ユニフォーム、マスコット(着ぐるみ制作含む)等の制作	予算 (実績)	5,628,318					4,371,682	10,000,000	
				変更前	10,000,000						10,000,000	
	設立50周年記念事業	①記念イベント等開催関連事業	・記念シンポジウムの開催 ・テレビ特別番組の制作 ・書籍購入(車いす、AED等)	予算 (実績)						12,420,000	12,420,000	
				変更前						12,420,000	12,420,000	
ファミリー ハウス	ファミリーハウス 10周年記念事業	①シンポジウム開催事業	・10周年記念シンポジウム委託料	予算 (実績)	2,995,043						2,995,043	
				変更前	3,000,000						3,000,000	
	人件費	②植栽整備事業	・植栽整備委託料	予算 (実績)	1,688,000						1,688,000	
				変更前	1,700,000						1,700,000	
		①嘱託職員人件費	・嘱託職員1名(240,000円×1名×12カ月)	予算 (実績)					2,898,957	2,898,957		
				変更前					2,880,000	2,880,000		
				予算(実績)合計	4,681,043	5,628,318	0	0	0	19,680,639	30,000,000	
				変更前予算合計	4,700,000	10,000,000	0	0	0	15,300,000	30,000,000	

(7) 資金運用

令和元年度は、予算額に対して、実績が84.6%となり約2,000万円の収入不足となった。世界経済については、減速する懸念が続く中、様々な金融政策が景気を支え経済成長を維持している状況であり、運用環境に関しては、低金利が継続し、株価については緩やかな上昇傾向にあったが、後半は新型コロナウイルスの影響により大幅に下降した。また、為替に連動する債券について、想定為替より円高傾向となったことが予算割れの主な原因である。運用額の減少については、事業拡充計画資産及び周年事業積立資産の事業実施に伴い資産を取崩したためである。全体の実績では、前年度の利回りより0.43%（約3,400万円）低下した。

ア 損益ベース(正味財産増減計算書から)

運用の種類	令和元年度				平成30年度				対前年度増△減	
	運用額 (千円)	構成 比	運用益 (千円)	利回 り	運用額 (千円)	構成 比	運用益 (千円)	利回 り	運用額 (千円)	運用益 (千円)
銀行預金 (定期)	1,720,000	22.7%	1,623	0.09%	1,720,000	22.4%	2,190	0.12%	0	△567
有価 証券	5,860,000	77.3%	115,149	1.96%	5,960,000	77.6%	149,141	2.50%	△100,000	△33,992
計	7,580,000	100%	116,772	1.54%	7,680,000	100%	151,331	1.97%	△100,000	△34,559

※3月中に償還された有価証券6億円を含む

3 業務経過

年月日	主要事項
平成31年4月1日	平成31年度 第1回評議員会(みなし決議)
〃	平成31年度 第1回理事会(みなし決議)
〃	臓器移植連絡調整者設置事業受託(沖縄県)
〃	臓器移植普及啓発活動団体助成事業応募開始
16日	市町村及び団体助成事業応募受付開始(応募期間6月29日迄)
25日	臓器移植普及啓発(意思表示啓発)バス車内CM放送開始(R2.3.31迄)
令和元年5月24日	平成30年度事業報告及び決算、監事による監査実施
6月4日	令和元年度 第2回理事会
7日	課題解決型支援(助成)応募受付開始(応募期間7/5迄)
24日	令和元年度 定時評議員会
〃	令和元年度 第3回理事会(みなし決議)
25日	第1回臓器移植推進委員会開催(事業団会議室)
28日	令和元年度第1回移植情報担当者会議(三重城合同庁舎特別研修室)
7月1日	健康情報誌「KENKO ISLAND」の発行(4回/年:20,000部)
10日	講師派遣(管理栄養士、健康運動指導士)なか事務所グループ社員研修
17日	スマートライフセミナー開催(那覇)沖縄県市町村職員共済組合
19日	〃 〃 (中部) 〃

24日	食育活動プロモーション事業調理実習（名護市外10町村：19回 3月迄）
〃	栄養講座開催（中部）公立学校共済組合沖縄支部 3回（7/24～26）
29日	スマートライフセミナー開催（中部）公立学校共済組合沖縄支部
8月2日	スマートライフセミナー開催（那覇）公立学校共済組合沖縄支部
7日	グリーンリボンアート展2019（県立図書館）8/7～9/2
16日	スマートライフセミナー開催（那覇）地方職員共済組合
22日	スマートライフセミナー開催（中部）地方職員共済組合
25日	「県民健康フェア2019」開催（コンベンションセンター展示棟）
28日	地域・職域リーダー向け料理講習会（那覇市）
31日	臓器提供意思表示啓発ラジオCM（4編）放送開始（R2.3.31迄）
9月1日	健康づくり啓発のためのテレビCM放送開始「健康経営」ほか2編（11月迄）
9日	沖縄グリーンリボンアート展2019開催（県庁県民ホール：～9/13迄）
18日	沖縄グリーンリボンアート展2019開催（県立図書館：～9/23迄）
19日	地域・職域リーダー向け料理講習会（読谷村）
25日	沖縄グリーンリボンアート展2019開催（県立南部医療センター：～10/15迄）
10月6日	「健康づくりライブトーク2019」開催（ロジールホテル那覇）
10日	第55回日本移植学会総会へ院内コーディネーター3名派遣 10/10～13迄
〃	臓器移植普及推進月間街頭キャンペーン（那覇市パレットくもじ前広場）
12日	臓器提供意思表示カード等資料配布（こどもの遊び祭り）10/12～14
17日	講師派遣（管理栄養士、運動指導士）株ダイオキ：健康経営実践セミナー
18日	臓器提供意思表示啓発・映画館広告開始（シネアド：県内4か所 ～10/31日迄）
〃	令和元年度第2回沖縄県移植情報担当者会議（三重城合同庁舎特別研修室）
19日	親子対象料理講習会（那覇市）
20日	〃（うるま市）
〃	臓器提供意思表示カード等資料配布（体験こどもフェスティバルREIWA）
21日	移植医療セミナー（TPM）へ医師を2名派遣（10/21～25迄）
23日	第2回臓器移植推進委員会開催（事業団会議室）
27日	臓器移植を知るシンポジウム2019（県立博物館・美術館 講堂）
11月1日	タウン情報誌掲載（株ダイオキ社員健康経営実践企画）
7日	講師派遣（管理栄養士、運動指導士）株ダイオキ：健康経営実践セミナー
15日	沖縄グリーンリボンアート展2019開催（県立中部病院：～12/6迄）
19日	県民食育講演会2019（タイムスホール）
22日	日本移植コーディネーター総合研修会へ院内Co2名派遣 11/22～24
12月10日	令和元年度第4回理事会（みなし決議）
15日	ココラプラスフェス2019（北谷公園奥内運動場：北谷ドーム）
〃	WEBプロモーションキャンペーン（テレビCMも同時放映）～1/31
18日	令和元年度第2回評議員会（みなし決議）
〃	若年層の健康教室（県立伊良部高等学校全学年及び宮古島市伊良部中学校全学年）開催
令和2年1月17日	若年層の健康教室（県立名護高等学校全学年）開催

30日	臓器提供に関する調査の実施（県立南部医療センター・こども医療センター～1/31迄）
2月1日 5日	健康経営に関する施策周知のためのテレビCM放送～29日 若年層の健康教室（県立中部商業高等学校3学年）開催
3月23日	令和元年度第5回理事会

4 評議員会決議事項

(1) 平成31年度第1回臨時評議員会 みなし決議（平成31年4月1日）

議案番号	議 案	結果
第1号	公益財団法人沖縄県保健医療福祉事業団理事の辞任に伴う補欠選任について	議決

(2) 令和元年度定時評議員会（令和元年6月24日）

議案番号	議 案	結果
第1号	平成30年度公益財団法人沖縄県保健医療福祉事業団事業報告及び決算	議決
第2号	公益財団法人沖縄県保健医療福祉事業団役員の任期満了に伴う次期役員の選任	議決

(3) 令和元年度第2回臨時評議員会 みなし決議（令和元年12月18日）

議案番号	議 案	結果
第1号	公益財団法人沖縄県保健医療福祉事業団評議員及び理事の辞任に伴う補欠選任について	議決

5 理事会決議事項

(1) 平成31年度第1回理事会 みなし決議（平成31年4月1日）

議案番号	議 案	結果
第1号	公益財団法人沖縄県保健医療福祉事業団専務理事の選定について	議決
第2号	公益財団法人沖縄県保健医療福祉事業団専務理事に事務局長の職務を委嘱する件	議決

(2) 令和元年度第2回理事会（令和元年6月4日）

議案番号	議 案	結果
------	-----	----

第 1 号	平成30年度公益財団法人沖縄県保健医療福祉事業団事業報告	議決
第 2 号	平成30年度公益財団法人沖縄県保健医療福祉事業団決算	議決
第 3 号	公益財団法人沖縄県保健医療福祉事業団役員の任期満了に伴う次期選任候補者の推薦について	議決
第 4 号	公益財団法人沖縄県保健医療福祉事業団令和元年度定時評議員会の開催について	議決

(3) 令和元年度第3回理事会 みなし決議 (令和元年6月24日)

議案番号	議 案	結果
第 1 号	公益財団法人沖縄県保健医療福祉事業団理事長の選定について	議決
第 2 号	公益財団法人沖縄県保健医療福祉事業団専務理事の選定について	議決
第 3 号	公益財団法人沖縄県保健医療福祉事業団専務理事に事務局長の職務を委嘱する件について	議決

(4) 令和元年度第4回理事会 みなし決議 (令和元年12月10日)

議案番号	議 案	結果
第 1 号	令和元年度第2回臨時評議員会の招集並びに目的である事項等について	議決

(5) 令和元年度第5回理事会 (令和2年3月23日)

議案番号	議 案	結果
第 1 号	令和2年度公益財団法人沖縄県保健医療福祉事業団事業計画	議決
第 2 号	令和2年度公益財団法人沖縄県保健医療福祉事業団収支予算	議決
第 3 号	公益財団法人沖縄県保健医療福祉事業団資産運用規程の制定について ※議案内容を一部修正し承認された。	議決
第 4 号	令和2年度第1回臨時評議員会の招集並びに目的である事項等について	議決

6 評議員に関する事項

(1) 現 況 (令和2年3月31日)

氏 名	任 期	備 考
西 銘 純 恵	平成29年6月20日 令和3年度定時評議員会	沖縄県議会文教厚生副委員長
宮 里 善 次	〃 〃	沖縄県医師会副会長
與 儀 利 枝	〃 〃	沖縄県婦人連合会理事

新垣 弘美	〃 〃	沖縄県栄養士会理事
糸 数 公	〃 〃	沖縄県保健医療部保健衛生統括監
砂川 安弘	令和元年12月18日 令和3年度定時評議員会	連合沖縄事務局長
山城 勝	平成29年6月20日 令和3年度定時評議員会	沖縄県経営者協会常務理事

イ 異動状況

発 令 日	職 名	氏 名	異動別	備 考
令和元年11月5日	評議員	東盛政行	辞任	
令和元年12月18日	評議員	砂川安弘	選任	新任 連合沖縄事務局長

7 役員等に関する事項

(1) 役員

ア 現況(令和2年3月31日)

職 名	氏 名	任 期	備 考
理 事 長	安里 哲好	令和元年6月24日 令和3年度定時評議員会	沖縄県医師会会長
専務理事	山城 秀史	〃 〃	沖縄県保健医療福祉事業団
理 事	狩俣 信子	〃 〃	沖縄県議会文教厚生委員長
理 事	東盛政行	令和元年12月18日 令和3年度定時評議員会	連合沖縄会長
理 事	金城 克也	令和元年6月24日 令和3年度定時評議員会	沖縄県経営者協会会長
理 事	本永 静江	〃 〃	沖縄県婦人連合会会長
理 事	村濱 千賀子	〃 〃	沖縄県栄養士会会長
理 事	砂川 靖	〃 〃	沖縄県保健医療部部長
理 事	伊集 直哉	〃 〃	沖縄県商工労働部産業雇用統括監
監 事	波平 正	〃 〃	税理士
監 事	有銘 寛之	〃 〃	公認会計士

イ 異動状況

発 令 日	職 名	氏 名	異動別	備 考
平成 31 年 4 月 1 日	理 事	山 城 秀 史	選 任	新任 沖縄県保健医療福祉事業団専務理事
令和元年 6 月 24 日	理 事	安 里 哲 好	選 任	
〃 〃	理 事	山 城 秀 史	選 任	
〃 〃	理 事	狩 俣 信 子	選 任	
〃 〃	理 事	大 城 紀 夫	選 任	
〃 〃	理 事	金 城 克 也	選 任	新任 連合沖縄会長
〃 〃	理 事	本 永 静 江	選 任	
〃 〃	理 事	村 濱 千 賀 子	選 任	
〃 〃	理 事	砂 川 靖	選 任	
〃 〃	理 事	伊 集 直 哉	選 任	
〃 〃	監 事	波 平 正	選 任	
〃 〃	監 事	有 銘 寛 之	選 任	
令和元年 11 月 5 日	理 事	大 城 紀 夫	辞 任	
令和元年 12 月 18 日	理 事	東 盛 政 行	選 任	
令和 2 年 3 月 31 日	理 事	山 城 秀 史	辞 任	
令和 2 年 3 月 31 日	理 事	伊 集 直 哉	辞 任	

(2) 職 員

ア 現 況 (令和 2 年 3 月 31 日)

職 種	人 数	備 考
課 長	1 人	副参事兼務
副 参 事	※ 1	
主 査	4	再任用 1 名、臓器移植コーディネーター 1 名含む 臓器移植コーディネーター 1 名含む
主 任 (嘱託員)	4	
栄 養 士	1	管理栄養士
運 動 指 導 員	1	健康運動指導士
事 務	4	
合 計	15 人(6)	() は嘱託員で内数、 ※は兼務

イ 異動状況 (職員)

異動なし

